



思いやいの心・仲間づくり・命の大切さ

11月18日(土)に人権・同和教育参観日を実施しました。この日は、午前中に暴風警報が発表され、午後2時から授業開始としました。まずは、急な変更にもかかわらずご協力いただいた保護者の皆様に、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

授業では、道徳科や学級活動を通して、相手のことを思いやる心や仲間づくりの大切さなどについて学習をしました。学校は、集団で生活する場所ですから、そこには様々な人間関係が存在します。どのようにすれば、その人間関係を円滑にすることができるのかを、子どもたちは日々の生活の中で学んでいます。この日の学習もそれを支えるものになったと考えています。

集会では、ダンちゃんの話について3年生が劇や歌で表現しました。劇を発表するのは久しぶりだったのですが、3年生の子どもたちは熱演し、見ている子どもたちもしっかり反応していました。

今年のダンちゃんの絵も運営委員会によって披露されました。ダンちゃんのことを、子どもたちはよく知っています。命の大切

さ、命を守るために努力した人たちの協力などについて、改めて考えることができたと思います。

さらに講演会では、中村和憲先生に「命のバトンをつないでいくこと ～幸せの種をまこう～」という演題でお話をいただきました。何世代もの命のバトンを大切に受け継いで、奇跡的に今の私達があるということを、子どもたちは実感できたと思います。今、生きている人たちはみんなそういった存在であることを知れば、心や体を傷つけるようなことはできないはずです。自他の命を大切にすることが、「幸せ」につながるのだということを、教えていただいたように思います。

子どもたちに関わる人権課題としては、いじめやインターネットによる人権侵害などがあります。いじめは、小さなことから起きることがありますが、多様性を認め、人権意識を高めることでその小さな芽を摘み取ることができると考えています。また、ネットモラルなどの情報教育を進めることで、誤った情報をうのみにせず、正しく判断することができるようになると思います。今後も、学校では普段の授業や生活の中で、人権・同和教育を進めていきますので、ご家庭でも人権意識の向上にご協力ください。

